

ミッション



行動指針 - トヨタ・モビリティ基金 綱領

- ・人々の自由な移動の実現を通じて、豊かで持続可能な将来社会におけるレガシーとなる活動をグローバルに行う。
- ・世の中を変えるイノベティブな技術、仕組みの実現に向けチャレンジする。
- ・同じ志を持つ多様なパートナーと共に、コラボレーションしながら目標の実現を目指す。
- ・活動を通して学び、その結果を広く社会に共有する。

概要

一般財団法人 トヨタ・モビリティ基金(TMF)

設立者 トヨタ自動車株式会社

理事長 豊田 章男

設立年月月 2014年8月

設立趣旨 より良いモビリティ社会の実現、モビリティ格差の解消に向けた各種活動を通じて社会に貢献する

所在地 東京都文京区後楽1丁目4番18号
(トヨタ自動車 東京本社内)

Tel. 03-3817-9960

Email. info@toyota-mf.org

TOYOTA
mobility
FOUNDATION

トヨタ・モビリティ基金は、多様なパートナーとともに、移動に関わる国内外の社会課題の解決に取り組んでいます。

志を同じくする人たちとの協働を通じ、より豊かで持続可能な未来社会の実現に向けて、イノベティブな技術、仕組みづくりに果敢にチャレンジし、移動の楽しさを追求していきます。



詳しくはウェブサイトをご覧ください
<https://toyotamobilityfoundation.jp/>

主な活動分野



交通安全

「交通事故死傷者ゼロ」を目指し、子どもの安全や高齢者の安全運転に焦点を当てた啓発活動と、技術やデータで事故を未然に防ぐ取り組みの両面から交通安全に取り組んでいます。



障がい者の移動支援

「Mobility for All(すべての人に移動の自由を)」の実現に向けて、障がいの有無にかかわらず、世界中のあらゆる人が安全・安心で、自由に移動を楽しめる世界を目指しています。



カーボンニュートラル(CN)の取り組み

脱炭素社会の実現に向けて、国内外の地域ニーズに寄り添いながら、水素の利活用等、新規性・持続性を備えたカーボンニュートラル施策を進めています。



移動課題への対応

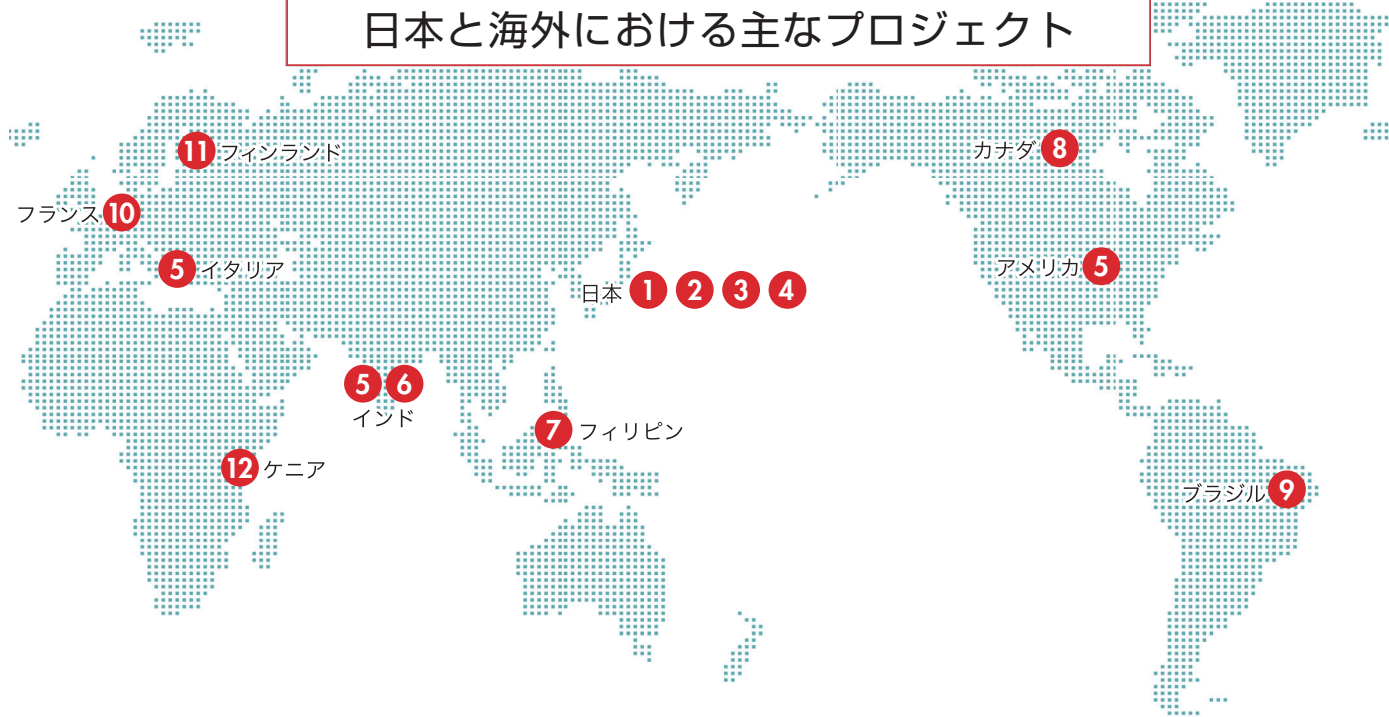
国や地域で異なるさまざまな移動の課題を解決するため、日本では過疎化や高齢化が進む地域の移動手段の確保、人口流入が進む地域では公共交通機関の有効活用等の取り組みを支援しています。



都市課題への対応

多様なデータやデジタル技術を活用し、地域や都市が抱える課題の解決を目指します。交通渋滞や大気汚染等、モビリティにより起きる問題への対応やモビリティシステムの進化に取り組んでいます。

日本と海外における主なプロジェクト



1 タテシナ会議



交通事故死傷者ゼロを本気で目指すための施策を、産官学のトップが真剣に話し合い、自動車以外も含む業界横断のチームでその実現に取り組みます。

2 地域ニーズに沿ったカーボンニュートラル



それぞれの地方の特色に合ったカーボンニュートラル施策の推進に向け、その計画策定と実行化を産官学で連携して支援します。

3 Mobility for ALLコンテスト



障がいの有無に関わらず誰もが自由に移動し、スポーツ観戦等を楽しむことができるためのアイデアを募り、その実用化を支援します。

4 Good Life on Earth



東京大学の教授らとともに、高校生・大学生の「好き」を後押しし、より良い地球のためのイノベーションの創出を目指します。

5 サステナブル・シティズ・チャレンジ



世界の都市が直面するモビリティ課題に対し、革新的で持続可能なソリューションを持つイノベーターを公募し、都市と共にその解決を目指します。

6 Station Access and Mobility Program (STAMP)



インド・ベンガルールにて、行動科学の理論を活用したテクノロジーによって、人々の通勤手段を自家用車から地下鉄に移行するよう促します。

7 Healthcare Mobility for All (HEAL)



医療サービスの不足するフィリピンにて、モビリティを活用して受診者や医療従事者の病院へのアクセス向上を目指します。

8 Mobility Unlimited Hub (MUH)



障がいの有無にかかわらず、すべての人が自由に移動できる社会の実現に向け、イノベーターやスタートアップを支援するプログラムを提供します。

9 交通弱者の移動支援



ブラジル・フォルタレザにて、周辺部に住む交通弱者が手頃な価格で利用できて、財政的・環境的にも持続可能な交通手段の開発を目指します。

10 障がい者向けナビアプリ



フランス・ヴィシーにて、スタートアップ3社と共同で障がい者が屋内外をシームレスに移動できるナビアプリを開発、実証します。

11 人と自然が調和したまちづくり



フィンランド・ユバスキュラにて、カーボンニュートラルの達成と持続可能な社会の実現を目指し、人と自然が調和したまちづくりを推進します。

12 農村のモビリティ・エコシステム



ケニアにて、モビリティを通じて農家の生活向上とともに、地元の産業やコミュニティも同時に裨益する「三方よし」の仕組み構築に取り組めます。